

令和2年5月29日（金）

全国医学部長病院長会議事務局 会議室（8階）

Web会議にて実施



全国医学部長病院長会議
令和2年度定例社員総会
議事録

一般社団法人 全国医学部長病院長会議

一般社団法人 全国医学部長病院長会議
令和2年度 定例社員総会議事録

1. 開催日時 令和2年5月29日 12時30分～16時00分
2. 開催場所 当法人会議室
(東京都文京区湯島1-3-11 お茶の水プラザ8F)
3. 会員(社員)総数 160名
4. 出席会員(社員) 158名(うち委任状出席17名。
また、141名はWEB会議による出席)
5. 出席理事 山下英俊
藤原祥裕、三浦哲嗣、八重樫伸生、長谷和生、村越隆之、齊藤延人、
北川昌伸、浅利靖、内木宏延、村垣泰光、黒沢洋一、赤池雅史、
矢野博久、河野嘉文、秋田弘俊、瓜田純久、井田博幸、武田正之、
小寺泰弘、井川幹夫、木内良明、赤司浩一、山下秀一、岩間亨、
本田孝行、塩田浩平、木村正(山下理事以外の理事は、WEB会議による出席)
6. 出席監事 岡村吉隆、別所正美(2名ともWEB会議による出席)
7. 議長 会長 山下英俊
8. 議事録作成者 会長 山下英俊
9. 議事の経過の要領及びその結果

上記のとおり過半数の社員が出席し本会は適法に成立した。よって、会長 山下英俊 は定款の規定により議長席に着き開会を宣し、WEB会議システムにより、出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることが確認されて、議事に入った。

[会長報告]

議長が前回の令和元年5月31日定例社員総会以降から本日までの活動等について報告した。
また、4月1日から事務局長に榎山博が就任したことを報告した。

[確認事項]

前回の令和元年5月31日定例社員総会議事録の確認が行われた。

[審議事項]

第1号議案 役員の選任について

議長は、定款の規定により理事及び監事の全員が本社員総会終結をもって任期満了となるため、その改選につき別紙のとおり選任したい旨の説明をした。

議長がこれを議場に諮ったところ、いずれも満場一致をもって原案どおり賛成し、下記の者が選任された。なお、被選任者はその就任を承諾した。

就任理事 尾野恭一、竹石恭知、天谷雅行、渡邊卓、中尾篤人、染矢俊幸、
中山淳、道川誠、須藤啓広、岩井一宏、友田幸一、福永仁夫、
上田夏生、小玉正太、富澤一仁、古川博之、小笠原邦昭、織田弘美、
瀬戸泰之、内田信一、三木保、渡辺雅彦、松山幸弘、湯澤由紀夫、
平田一人、南敏明、金澤右、三浦裕正、中尾一彦、大屋祐輔

重任監事 別所正美

就任監事 稲垣暢也

第2号議案 2019年度事業報告案について

第3号議案 2019年度収支決算案について

議長の指示に基づき、事務局長 榎山博が、2019年度（2019年4月1日から2020年3月31日）における本会議の事業状況について、別添事業報告書をもとに報告を行った後、同年度に関する本会議の計算書類等について詳細に説明をした。

議長がこれについて監事の報告を求めたところ、監事 岡村吉隆と別所正美は、計算書類等を綿密に調査した結果いずれも正確かつ適切であることを確認した旨を報告した。

よって、議長はこれを議場に諮ったところ、満場一致をもって原案どおり承認された。

第4号議案 2020年度事業計画案について

議長の指示に基づき、事務局長 榎山博が、本会議の2020年度（2020年4月1日から2021年3月31日まで）の事業計画案について、別紙に基づき説明をした。

議長がこれを議場に諮ったところ、満場一致をもって賛成し、原案どおり承認可決された。

第5号議案 2020年度収支予算案について

議長の指示に基づき、事務局長 榎山博が、本会議の2020年度（2020年4月1日から2021年3月31日まで）の収支予算案について、別紙に基づき説明をした。

議長がこれを議場に諮ったところ、満場一致をもって賛成し、原案どおり承認可決された。

第6号議案 本会議会員の入会及び退会に関する規則の改正について

議長の指示に基づき、総務委員会の八重樫委員長が、別紙に基づき本会議の入会及び退会に関する規則を変更したい旨及びその理由を詳細に説明した。

慎重審議の後、議長がこれらの賛否を議場に諮ったところ、満場一致をもってこれに賛成した。

よって、議長は原案のとおり改正することが承認可決された。

第7号議案 本会議への入会について

議長が本議案について説明した。東北医科薬科大学および国際医療福祉大学より入会の申請があり、入会可否について、別紙に基づき説明した。

議長がこれを議場に諮ったところ、満場一致をもってこれらに賛成し、東北医科薬科大学および国際医療福祉大学の入会について、原案どおり承認可決された。

第8号議案 文部科学省・動物実験基本指針の改正について

議長の指示に基づき、動物実験検討委員会の門松委員長が、別紙に基づき文部科学省・動物実験基本指針の改正について詳細に説明した。

慎重審議の後、議長がこれらの賛否を議場に諮ったところ、満場一致をもってこれに賛成した。

よって、議長は原案のとおり可決された旨を宣した。

[講演会]

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策について／日本医師会 横倉義武会長
- (2) 医学教育の現状と課題／文部科学省 丸山 浩 医学教育課長
- (3) 新型コロナウイルス感染症に伴う医療関係の支援について／厚生労働省 佐々木 裕介 総務課長

[報告事項]

下記の各委員会から、別添資料に基づき、委員会報告がなされた。

(1) 医学教育委員会／松村 明 委員長

卒後臨床研修検討ワーキンググループでは、昨年秋に全国の医師教育に携わる指導医や医師教育を統括する診療部長や病院長を対象に臨床研修制度に関するアンケートを実施し、その結果をもとに提言をまとめたことが報告された。医師養成のグランドデザイン検証ワーキンググループでは、「仮題：我が国で求められる医師養成のためのグランドデザインへの提言～卒前・卒後のシームレスな医学教育を目指して～」を作成していることが報告された。その他には新型コロナウイルスへの対応に関してアンケートを実施したこと、また、引き続き臨床実習に関して検討が必要であることが示された。

(2) 国家試験改善検討ワーキンググループ／岩間 亨 座長

今年行われた第114回医師国家試験に関してアンケート調査を実施し、8月頃に報告書を発行予定であることが説明された。また、現在は委員が所属する12大学で学生を対象としたアンケートを実施しているが、第115回医師国家試験に関するアンケート調査からは、全大学の学生を対象に調査できるようウェブでのシステムを構築予定である旨の説明があった。

(3) 共用試験検討委員会／齊藤 延人 委員長

Post-CC OSCEの準備状況に関するアンケート調査については、アンケートの結果までとりまとめているが、現在の状況で発信した場合には却って混乱を引き起こしかねないので、機会を改め

て報告したい旨、ならびに令和2年4月30日にPost-CC OSCE正式実施の延長に関する要望書を提出した旨の報告があった。また、5月13日に医療系大学間共用試験実施評価機構から今年度の実施に関する対応についての文書が発出され、特例措置がとられていることについて説明があった。同日、医道審議会医師分科会からCBT・OSCEの公的化とStudent Doctorの法的位置づけについて最終答案が出されたが、今年度は従来どおりの法制化されないCBT・OSCEと考えておく必要があることが示された。

(4) 医学部大学院のあり方検討委員会／北川 昌伸 委員長

医学部の大学院は特に基礎系の部分で人員の不足が目立っていることから、それをどのように解消していくか、あるいは各大学のいろいろなアイデアがどのように実を結んでいるのか、結んでいないのかということについて、アンケートを実施し、大学院のあり方を検討する材料とする予定であることが報告された。

(5) 患者安全推進委員会／坂本 哲也 副委員長

委員会の名称を「患者安全推進委員会 (Patient Safety Committee)」と変更することについて理事会で承認された旨報告があった。委員会できりまとめた「医療事故調査制度の現状と課題」を日本医療安全調査機構へ送付した旨、ならびに「医療行為と刑事責任について」(中間報告)についての意見」を厚生労働省担当部署へ提出予定である旨の報告があった。

(6) DPC (包括評価支払制度) に関するワーキンググループ／小山 信彌 座長

4月に実施した医療機関別係数アンケートの集計報告があった。医療機関別係数は右肩上がりで、どこの大学も1.55を超えてきている、また、地域医療体制確保加算、医師事務作業補助体制加算15対1、急性期看護補助体制加算(夜間)、病棟薬剤業務実施加算、検体検査診断料については請求できるように努力いただきたい、看護必要度についてはいずれ看護必要度2だけの届出になるだろうとの考えが示された。

(7) 臨床研究・利益相反検討委員会／苛原 稔 委員長

臨床研究法に関するアンケート調査を実施したことについて報告があり、この結果を基に厚労省や関係省庁に働きかける予定である旨の説明があった。また、講師謝礼については、昨年国会で取り上げられたこともあり現在アンケート調査中である旨の説明があった。その他、製薬会社からの奨学寄附金、製薬企業による講演内容のチェック、臨床研究およびCOIに関する各種ガイドラインの見直しについて検討していくことが示された。

(8) 被災地医療支援委員会／嘉山 孝正 委員長

医療支援を行う際は全国7支部に分けて行っている旨の説明があった。また、23組織42団体からなる被災者健康支援連絡協議会についての説明があった。

(9) 新型コロナウイルス(COVID-19)に関わる課題対応委員会／嘉山 孝正 委員長

5月18日(月)に内閣総理大臣へ「全国大学病院への財務投入の要請書」を提出したこと、総理から「国公立大学(医学部および附属病院)はつぶしません。財政的支援を致します。」との発言があったことが報告された。会員大学には都道府県に対し経費を要求するよう考えが示された。地区部会から提案議題があった中国・四国地区の菅沼医学部長(高知大学)より地区部会での検討内容について発言があり、新型コロナウイルス対策に伴う進級判定、卒業判定、卒業認定、臨床実習についての情報共有の要望があり、意見が交わされた。

下記の各委員会報告は、別添資料のとおりとされた。

- (1) 医師養成のグランドデザイン検証WG
- (2) 医学生の学力に関する検証WG
- (3) 卒後臨床研修検討WG
- (4) 地域医療検討委員会
- (5) 大学病院の医療に関する委員会／臨床系教員の働き方改革WG
- (6) 経営実態・労働環境WG
- (7) 男女共同参画推進委員会
- (8) 広報委員会
- (9) 医学部・医科大学の白書調査WG
- (10) カリキュラム調査WG
- (11) 地域における医師養成の在り方に関する調査実施委員会

〔地区部会報告 提案議題〕

全国医学部長病院長会議のWEB会議での開催について

／中国・四国地区（説明者：高知大学 菅沼成文医学部長）

新型コロナウイルスが収束した後も、継続してウェブによる定例社員総会の開催について要望があった。

〔その他報告〕

(1) 放射線の健康リスク科学教育の必修化について

／長崎大学 前村浩二医学部長（国立大学医学部長会議）

所期の目的である放射線の健康リスク科学教育の医学教育モデル・コア・カリキュラムへの掲載、ならびにeラーニング教材の教育リソースの作成という全国展開を達成したため、6月18日をもって活動を終了したことが報告された。

以上をもって本日の議事が終了したので、議長は閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し、定款の規定に基づき、議長が次に記名押印する。

令和2年5月29日

一般社団法人全国医学部長病院長会議

定例社員総会

議長 会長（代表理事）

山下 菜穂

